

# 普及センターだより

第58号 平成27年9月10日発行



## おいしい九条ねぎを届けるために、日々研究中！！

(京都市西京区牛ヶ瀬 清水 洋人さん(左)、林 明治さん(右))

ネギを食害するだけでなく、ウィルス病も伝搬する難防除害虫のアザミウマ防除対策として、薬剤散布と合わせてソルゴー障壁栽培を実施しました。防風ネットや黄色テープなども活用して、今後も検討していきます。

# 普及センターの活動

京都乙訓普及センターでは、京都府農林水産部行政における基本的な考え方に沿って、「人づくり・組織づくり、集落支援」と「ものづくり、安心・安全づくり等のための技術・生産支援」に重点を置き、効率的・効果的に普及活動を実施するため普及計画を策定しています。今回は、その普及計画の中で今後3年間にわたり重点的に取り組む4つの柱(重点課題)をご紹介します。

## 就農者のステップアップを応援



▲ 就農者への支援(野菜品種や栽培方法の見学会)

京都乙訓管内では40歳未満の農業者が157人おられ、府内の3分の1を占めています。新規就農者は毎年10人程度で、農家子弟の親元就農、農外からの新規参入、法人への雇用就農、定年帰農など就農形態は多様です。

また、基礎的な栽培技術の習得が必要な方、経営目標の明確化が必要な方、新たな部門に取り組む方など、経営の発展段階も様々です。普及センターでは各段階に合わせた支援を行い、経営者としてのステップアップを応援します。

- ① 就農直後～概ね3年の方：農業基礎講座(6月～11月全5回)を開講し、講義や先進農家視察を通して、基礎技術習得や仲間づくりを目指します。
  - ② 就農概ね2～5年の方：巡回による個別営農相談を行いながら、経営の強味・弱味を知り、問題点や経営目標を明らかにして経営改善を目指します。
  - ③ 就農概ね3年以上で経営目標が明らかの方：農業経営講座を開講し、コスト計算や流通の感覚を身につけ、新たな営農や販路開拓へのチャレンジを応援します。
- また、京都市農業青年研究会も担い手支援の対象者と位置づけ、見学会や交流会の活動を応援しています。関心を持たれた方は普及センターまでお問い合わせください。

## 京の米で京の酒を!! 京都府オリジナル酒米の生産支援

京都府オリジナルの酒造好適米「祝」と掛米用新品種「京の輝き」について、近年需要が高まっており、府内で生産振興が進められています。京都乙訓管内でも酒米振興プロジェクト京都乙訓部会(JA、市町、府で構成)として生産振興に取り組んでいます。

今年は、「祝」は20戸、「京の輝き」は25戸の生産者が栽培に取り組んでいます。

普及センターでは、関係機関と協力して「祝」及び「京の輝き」のほ場で基肥一発の省力技術の実証ほを設置するとともに、栽培管理指導と生産規模の維持・拡大に向けた取組を行っています。

適切な栽培管理と面積確保により、実需者の要望を充たす収量が確保でき、また、生産者が継続して栽培に取り組むことで、栽培技術の向上と収量安定が図れ、今後の産地形成に繋がっていくよう支援しています。

- ① 栽培管理指導
  - 新規生産者巡回指導
  - 研修会の開催等
- ② 生産規模の維持・拡大に向けた推進
  - 酒米振興プロジェクト京都乙訓部会の開催支援
  - 技術情報の発信
  - 啓発用のぼり等設置
- ③ 獣害対策指導
  - 獣害対策研修会や獣害防護柵施設の点検及び改善策の提示



▲ 酒米互見会で肥料試験ほ場を見学する生産者

## 野菜の安定生産を目指して

京都市及び乙訓地域の野菜生産は、販売額で京都府内の45%を占め、他地域とは異なった生産環境の中で行われています。その特徴は、都市近郊地域を中心に栽培ほ場があり、出荷形態は、個人出荷が多く、青果市場や契約出荷、直売等多岐にわたっています。

このような生産条件のもと、普及センターでは、主力品目のネギ、ナス、トマト、花菜(ブランド産品)及び少量多品目の七草について以下の取り組みを行います。



▲ ナスうどんこ病の薬剤効果調査を実施

- ① **ネギ** 京都市南部のネギ栽培地域を中心に、病虫害対策(ネギえそ条斑病、黒腐菌核病、ネギアザミウマ)や市場の要望に対応した出荷規格の確立と有利販売への支援
- ② **ナス** JA京都中央なす部会を対象に、うどんこ病の効果的な農薬確認と天敵に配慮した農薬のローテーション情報の提供
- ③ **花菜** 長岡京市内で根こぶ病の発病レベルに応じたほ場ごとの防除対策と長岡京花菜部会の女性部(花華の会)での販促や作業方法等の改善による生産振興
- ④ **七草** 北区の生産者を対象に、年度ごとの計画的な出荷量に対する生産支援
- ⑤ **ネギ、ナス、トマト** 経営調査による経営指標モデルの作成、提示による経営の向上

## 消費者への魅力発信で地域農業を支援

農業・農村の魅力とは何?と問われると、色々なことが思い浮かびます。他産業の方からは「農業はまだ手がついていない新たなビジネス分野」「組織に縛られずに、自然の中で、自分の力で稼げる仕事」と捉えられるかもしれません。一方、「新鮮で美味しい農産物を育てられる」「懐かしい農村の風景がある」といった「四季の移り変わりを感じさせてくれる」様々な魅力もあるはずで

京都市及び乙訓地域は都市近郊地域であり、消費者の身近に農業が存在しており交流が図りやすい地域です。農業の持つ数々の魅力を引き出して、しっかりと肌で感じてもらい、より多くの方々に地域の農業・農産物のファンとなってもらうための取組を進めていきます。

「消費者への農業・農村の魅力発信と地産地消の推進」プロジェクトチームでは、次の4つの取組を柱に、農業・農村の魅力を伝える活動を行っています。



▲ 乙訓地域の企業食堂で地元産野菜をPR

- ① 個人で小規模な直売所を営む農家を対象に、魅力的な直売所づくりのための講座開催
- ② 加工体験等による消費者との交流の支援
- ③ 食生活改善を兼ねた食育活動支援や企業食堂での地元産野菜の利用推進
- ④ 加工等の新たな取組を始めようとする農業者の支援

# 農薬登録内容の見直しが進んでいます！

最新の情報を確認の上、使用しましょう。

農薬の登録にあたっての残留基準値は、一日摂取許容量（ヒトが一生毎日食べても健康に影響が出ないと考えられる1日量）から定められていますが、更に急性参照用量（ヒトが24時間または短時間食べても健康に影響が出ないと考えられる1日量）を超えないかという点についても評価（短期暴露評価）されることとなり、それに伴い農薬登録内容の見直しが進んでいます。

登録変更されると、変更される前に購入した農薬であっても、容器に表示された使用方法ではなく、即日、変更後の使用方法（適用作物の変更、使用回数の変更、収穫前日数など）に基づいて使用してください。

また、農薬メーカーから変更登録の申請があった段階で、変更登録の内容が発表されます。

最新情報については、各農薬メーカーや京都府ホームページ「農薬の変更登録情報（下記URL）」で確認してから使用しましょう。

<http://www.pref.kyoto.jp/shokuanzenbosai/news/documents/tankibakurohyoka.html>

有効成分 (変更年月日)	主な商品名	変更内容
アセフェート (平成26年11月17日)	オルトラン水和剤、オルトラン粒剤など ジェイエース水和剤、ジェイエース粒剤、 スミフェート水溶剤、スミフェート粒剤 ジェネレート水溶剤、ジェネレート粒剤、	適用作物削除 使用時期変更 使用回数変更 希釈倍数変更
ジメトエート (平成27年2月4日)	ジメトエート乳剤、ジメトエート粒剤 ベジホン乳剤	適用作物削除
フルバリネット (平成27年2月18日)	マブリック水和剤 20、マブリックEW マブリックジェット	適用作物削除 使用時期変更
フェナリモル (平成27年2月18日)	ルビゲン水和剤、スペックス水和剤	適用作物削除
NAC (平成27年2月18日)	マイクロデナボン水和剤 85 デナボン水和剤 50	適用作物削除
カルボスルファン ベンフラカルブ (平成27年7月8日)	オンコル粒剤 5、アドバンテージ粒剤、 ジャッジ粒剤、オンダイアエース粒剤、 ガゼット粒剤など	適用作物削除

地域で大活躍

## 「頼れる農業士さん」

佐々木 卓さん

### 今につながる桃山時代の花づくり

京都市伏見区桃山は江戸時代初期より椿、桃などの栽培が始まった古くからの花き産地で、京のお正月、桃の節句など四季を飾る様々な花が栽培されています。

佐々木卓さんは、菜の花、桃、ナデシコ、グラジオラス、コギク、リアトリス、ヒマワリ、コスモス、ケイトウ、おどり葉ぼたん、テッポウユリ等、研究を重ねながら花き類の周年栽培に取り組まれています。

中でも、おどり葉ぼたんは秋の中心品目で、10年位前から栽培しています。12月初めから出荷してクリスマスまでが勝負です。8月末から葉をかき、11月に寄せ植えします。「手がかかり、形をそろえるのが難しく、特に、害虫対策、葉かき作業が大変だ。」とおっしゃっています。

佐々木さんは現在、京都市花き生産者連絡協議会会長も務めておられ、歴史ある桃山の花栽培を受け継がれるとともに、花きの魅力発信にも努められています。



発行 京都府京都乙訓農業改良普及センター  
〒615-0846 京都市右京区西京極徳大寺団子田町15  
TEL 075-315-2906 FAX 075-315-2909  
<http://www.pref.kyoto.jp/kyotootokuni-f/>  
平成27年9月10日発行